荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の全体スケジュール
(平成15年～平成16年)

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第2回協議会　資料-2

平成15年9月6日

太郎右衛門自然再生地の社会的状況
○旧流路は、横堤によって分けられた3つの池（上池、中池、下池）を中心とした豊かな湿地の自然が発達しており、住民からの自然保護に対する要望は強い。
○旧流路周辺はそのほとんどが民地であり、耕作などによる改変が懸念される。

太郎右衛門自然再生地の自然環境の状況
○乾燥化によって湿地が減少し、湿地に形成している多様な生態系が衰退しつつある。
○洪水による攪乱・更新の頻度の減少、強度の低下により、ハンノキ林を中心とした湿生林が安定・極相化し、高木・壮齢化が進んでいる。

検討内容

平成13年度　**協議会等**

荒川～、三ツ又沼ネットワーク検討

・自然度の評価
・上池湿地再生概略検討

上池用地買収

平成14年度

協議会設立準備会（2回）

自然再生計画（案）検討

中池用地買収

下池用地買収

自然再生地現況調査

上池ボーリング調査

＜物理的環境＞
本川及び旧流路について調査を実施
○流況（資料整理・流量調査）
○旧流路及び周辺の測量
○観察井戸の設置
（地下水位及び流動・冠水頻度・土砂堆積状況）
○土質（ボーリング調査：河床の土砂堆積状況：周辺土質の状況）→中池、下池
○水質（旧河道の水質変動、洪水前後の状況）
○騒音（ホンダエアポート、モトクロス場）
○田畑の落水状況（水量・水質・期間について調査・資料収集）
○畑作状況（資料収集・聞取り）
○樋門水量・水質（資料収集・水量水質調査）

＜動植物の生育・生息状況（環境調査）＞
○植物
・植生・希少植物の分布状況
・ハンノキの生育状況：壮齢樹・若齢樹 の分布比率
・乾燥地の実態（年間を通じての水位・水面積、植生の変化）
○魚類・底生動物
・止水に生息する水生動物の生息状況
○鳥類
・鳥類（特に水鳥）の確認・利用（営巣、餌場）状況
・生態系上位種（オオタカ、サシバなど）の生息状況
○両生類・爬虫類・哺乳類
・生態系上位種（タヌキなど）の生息状況
○陸上昆虫類
・ミドリシジミなどの希少昆虫類の生息状況

平成15年度

太郎衛門自然再生協議会

第1回（平成15年7月5日）
現状把握と自然再生への思い

①現状の把握
②当該地の自然再生のあり方（各自の想い）
③各自の役割分担

第2回（9月中旬）
目標設定のための認識の共有化と自然再生の方向性についての合意

①課題の抽出と整理
（前回の意見についての紹介）
②課題の共通認識（治水上の制約条件等に関しての共有化）
③目標設定（自然再生の方針について）

第3回（10月中旬）
自然再生の目標設定

①目標設定（時間レベル　・　整備レベル）
②役割分担
③整備案の検討
④自然再生に必要な事項の抽出
⑤専門委員会の設立
⑥自然再生の意義及び効果について

専門委員会

課題別に目標設定、方策案、役割分担を検討、維持管理の組織化等行う

専門委員会（例）
- 湿地保全・再生
- ネットワーク検討
- 利用・維持管理
- 環境学習

※今後、分野を協議

第4回（12月中旬）
全体構想案の提示

①整備案に対する合意
②構想のイメージ化
③維持管理方策
④モニタリング手法

報告

第5回（2月中旬）
自然再生全体構想の確認

報告

制約条件整合性

○周辺の歴史的・社会的・自然的位置付け
（資料収集・聞取り）

○周辺計画との整合
都市計画・下水道計画・農地、都市公園特に埼玉県川島都市林計画（資料の収集・協議）

○調整池計画との整合
治水上の制約条件の抽出、調整池計画が生態系に与える影響などの検討

○ビオトープネットワーク検討
・荒川全体におけるネットワーク
・旧流路におけるネットワーク

現状の自然環境（物理的、生物的）特徴

平成16年度

第6回（平成16年5月中旬）
実施計画策定に向けた基本事項の確認

①現地踏査
②事業着手前の科学的データの収集結果の検討
③構想のイメージを具体化（ワーク）

第7回（6月中旬）
周辺地域の自然環境との関係および自然環境の保全上の意義・効果の検討

専門委員会
随時必要に応じて各課題に対して開催する

第8回（8月中旬）
モニタリング・維持管理内容および組織作りの検討

第9回（12月中旬）
実施計画の決定・確認および順応的管理手法の確認

設計条件適合性

○調査・検討内容のフォローアップ
・経年変化等継続的な調査が必要な事項
・協議会で出された意見を基にした調査・検討

○自然再生の意義および効果について

○設計計画
設計条件の整理、基本事項の整理

○事業実施中・実施後のモニタリング計画
（対象、時期、頻度）

○設計パースの検討（目的、項目、内容）
一般図、比較案

○自然計画案提示
モニタリング計画、事業実施に伴う影響予測、自然再生の意義及び効果、施設設計